

第五週
メッセージ
流れ出る心

わが子よ、わたしの言葉に心をとめ、わたしの語ることに耳を傾けよ。

それを、あなたの目から離さず、あなたの心のうちに守れ。

それは、これを得る者の命であり、

またその全身を健やかにするからである。

油断することなく、あなたの心を守れ、

命の泉は、これから流れ出るからである。

箴言 4:20～23 口語

人が見るようには見ないからだ。

人はうわべを見るが、主は心を見る。

I サムエル 16:7b 新改

心の4つの障害物

1. _____

しかし、あなたがたは、内心ねたみ深く利己的であるなら、自慢したり、真理に逆らってうそをついたりしてはなりません。そのような知恵は、上から出たものではなく、地上のもの、この世のもの、悪魔から出たものです。ねたみや利己心のあるところには、混乱やあらゆる悪い行いがあるからです。

ヤコブ3:14~16 新共

2. _____

イエスは弟子たちにこう言われた。

「つまずきが起こるのは避けられない。」

ルカ17:1a 新改

反抗する兄弟は堅固な城よりも近寄りにくい。

敵意は宮殿のかんぬきのようなだ。

箴言18:19 新改

3. _____

死も生も舌の力に支配される。

舌を愛する者はその実りを食らう。

箴言18:21 新共

4. _____

内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです。

マルコ7:21~23 新改

心が変わえられる3つのステップ

あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの定めを守り行わせる。

エゼキエル36:26～27 新改

1. 聖霊に _____ いただく

神よ。私を探り、私の心を知ってください。

私を調べ、私の思い煩いを知ってください。

私のうちに傷のついた道があるか、ないかを見て、

私をとこしえの道に導いてください。

詩篇139:23～24 新改

2. 聖霊に _____ いただく

神よ。私にきよい心を造り、

ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。

私をあなたの御前から、投げ捨てず、

あなたの聖霊を、私から取り去らないでください。

詩篇51:10～11 新改

3. 聖霊に _____ いただく

また、酒に酔ってははいけません。

そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。

エペソ5:18 新改

第六週

明け渡す人生

心を尽くして主に抛り頼め。

自分の悟りにたよるな。

あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。

そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

箴言 3:5~6 新改

降伏という言葉は、どんなイメージでしょうか。軍事要塞の頂上でなびく白旗、または圧倒的な軍の多さにお手上げ状態となった軍隊などが思い浮かぶかもしれません。私たちは、降伏を敗北と関連づけがちです。しかし、キリストにある人生においては、降伏する、つまりキリストに支配を明け渡すことは、自由への第一歩なのです。明け渡す人生には信頼が必要です。その信頼は、関係の中で建て上げられるものです。私たちが旅行に出かける時、赤の他人に自分の子どもを預けたり、家のことを任せたりするでしょうか？もちろんしません。信頼とは築いていくもので、その方の性格を知るまでは、大切なものを預けるということではできません。

神に私たちの人生を明け渡すには、神が善であり、信頼するに値すると信じなければいけません。過去に経験した人や教会との関係の故に、疑念や失望が生まれ、口で言うほど信じるのが簡単ではないかもしれません。そのような経験のために、時に心が疲れ、また頑なになることもあるでしょう。しかし希望があります！イエス様が何をしてくださったかを理解することによって、イエス様を信頼することができるのです。イエス様は天からこの地に来られ、空腹や痛み、拒絶を経験されました。鞭打たれ、十字架で死なれ、その三日後に墓からよみがえられたのです。それにより、イエス様はご自身の愛を示され、私たちから信頼を得、私たちとの関係を築くことができるようにされたのです。

詩篇 119:68 を記入

神をもっと知りたければ、友達を知っていくときに同じことをする必要があります。共に時間を過ごすことです。特別なことをする必要はありません。重要な鍵は、神を人生にお迎えすることです。みことばを学んだり、祈りを通して神を求めたり、親密な関係を築いたりして、自分の霊を養う時、主はご自身を啓示してください。

ヤコブ 4:8 を記入

天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、
わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。 イザヤ 55:9 新改

時に、神のみこころが理解しづらいこともあります。神の考えは、私たちの考えからは程遠く、遥かに偉大です。たとえ理解できなくても、神を信頼し従う決断をする時、成功に近づくのです。

想像してみてください。グランドキャニオンまで車で訪れるとしましょう。車を運転するのはあなたです。しかしこの旅には携帯も、地図も、方位磁針もありません。あなたの親友の中に、これらのアイテムを持っているだけでなく、そこに行くまでの荒れた道も、ガソリンスタンドも、レストランさえも知っている人がいます。彼と一緒に来てほしいと思いませんか？彼があなたと旅をするたった一つの条件が、彼が運転することだったらどうでしょう？ここでジレンマが起きます。ハンドルを握るとは、支配を任せるということを意味するので、躊躇すると思います。しかしクリスチャンにとって、神があなたに準備された豊かな人生を送る唯一の方法は、完全に人生を明け渡し、何事も神のみこころをなすことなのです。

あなたの人生で、まだ神に明け渡していない領域はどこですか？
その領域で神を信頼することがなぜ難しいと思いますか？

.....

.....

最高の旅

神は全ての主となることで、私たちの人生をより良くしたいと願っておられます。それは、私たちが霊的優位性のうちに歩み、神が支配するときのみです。自分で握っているものは何でも、自分で持続しなければならない責任がありますが、もし神に人生の全ての領域を明け渡すなら、神はこの旅のパートナーとなられ、最終目的地まで安全に連れて行ってくださることでしょう。

ルカ 14:33 を記入

.....

.....

人は礼拝者として造られました。そして私たちは自分が最も価値を置くものを礼拝します。出エジプト20:3～4で、神はイスラエルの民に、「わたしのほかに、ほかの神があってはならない。偶像を造ってはならない」と言われました。偶像と聞くと彫刻された像を思い浮かべるかもしれませんが、神よりも慕うすべてのものが偶像なのです。霊的優位性のうちを歩みたく願うなら、神が第一でなければなりません。

物質主義は、生活の中の優先順位を間違っただけにしてしまう要因です。物質が最も大切なものになるなら、もっと手に入れようと努力して、プレッシャーとストレスによって自分自身を消耗させてしまいます。物質主義は、所有欲や物欲を絶え間なく抱かせることによって、敵に私たちの思いや感情を攻撃させる隙を与えてしまいます。多くを所有すればするほど、注意もそこに注ぐようになるからです。

以下のみことばを読みましょう。
物やお金を人生の優先事項にすると、どうなるでしょうか？

マタイ13:22

黙示録3:17

I テモテ6:9～10

あなたの人生において、神より大切にしている物事は何ですか？

詩篇 62:10、ヘブル 13:5、ルカ 12:22～31 を読みましょう。これらのみことばがどのようにあなたの生活に適用できるか、聖霊様に示していただきましょう。

神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。 マタイ6:33b 新改

人間関係の問題

人間関係は、あなたと神との関係を壊し得るということを知っていましたか？家族や友達、同僚、牧師、教会員、隣人、敵との関係などがです。良い関係であっても、悪い関係であっても、私たちにとって主との関係よりも大切なものになってしまうことがあるのです。

創世記22:1～18を読みましょう。この箇所ではアブラハムは、受け入れがたい状況に直面しました。彼は多くの国民の父となるという約束が成就されるまで何十年と待ちました。彼は老いてから、イサクという名の子どもが与えられます。子どもが育ち、アブラハムの喜びも増しました。そしてある日、神はアブラハムに、イサクをいけにえとしてささげるように言いました。アブラハムが疑問を抱かない訳がありません。彼は子を愛していましたが、神を信頼していました。

聖書には、アブラハムは翌朝早くに起きて神の命令に従ったと書かれています。つまり彼は、先延ばしにしたり、逃げる道を考えたりはしなかったのです。彼は自分の行いに躊躇しませんでした。信仰によって、彼はひとり子であるイサクを祭壇の上に置きました。その後、御使いがアブラハムを止めなければ、彼は最後まで命令に忠実に従っていたでしょう。神はアブラハムの従順な心を見て、代わりのいけにえを備えられ、子孫を与え、他に例を見ないほど祝福されました。彼の子孫は空の星、海辺の砂のように数多く増し加えられました。

私たちは、人間関係を支配しようとするのが有害であるということに気づかず、自分のやり方で突き通そうとします。人間関係を自分で支配しようすると、関係が豊かにならないだけでなく、人間関係が神から気をそらさせ、間違った優先事項になってしまいます。神がアブラハムを確かに祝福されたように、人間関係さえも喜んで神に明け渡すなら、神は人間関係を豊かに祝福してくださいませ。

神とあなたの関係を壊すような人間関係は、どのようなものですか？

健全な人間関係を保つためのもうひとつの原則は、傷のない関係を保つことです。明け渡すことが最も難しい人間関係は、傷と赦せない状態にある人間関係かもしれません。

その関係がどのようなものであったとしても、「自分が正しい」という考えを手放し、傷のない関係を選択れば、どうなるか想像してみてください。

傷のない関係を保つ6つの方法

1. へりくだる

全ての人のことを、自分自身より大切だと考えてみましょう。自分の必要よりも、他の人の必要に目を向けましょう。他の人や自分ではなく、神を喜ばせようとするのです。しもべとなり、自分ではなく他の人を尊重しましょう。

2. いつも感謝する

感謝の心は、神の備えと祝福を覚え続けるので、私たちの態度を変えます。

3. 人の自由を尊重する

他の人を支配しようとしません。人には、意思決定の自由が必要です。時に良い決断、時に悪い決断を下しますが、どちらにせよ、彼ら自身の決断なのです。

4. 人にいのちをもたらす決断をする

誰かがあなたを傷つけたら、その人を無視するか仕返しをするのが当たり前になりますが、イエス様はもっと良い方法を提示しています。彼らに対して、善い態度を保つのです。彼らにいのちの言葉をかけ、彼らを建て上げることをするのです。彼らがどんな反応をするかは、彼らに任せるのです。

5. さばかれる神を信頼する

報復は主がされることです。自分の罪の贖いを、イエス様ではなく自分自身でしなければならなかったら、どのような感じが想像してみてください。誰も受けるべきものを受けたくありません。それよりも、恵みを受けたいですね！

6. 時間を主にささげる

祈り、聖書勉強、そしてイエス様との交わりを通して、自分の霊をリフレッシュさせましょう。神の臨在が変化をもたらします。

すべてを明け渡す

神に明け渡す必要がある領域は、生活の中で多くあります。計画、目標、楽しみ、野望、傷、将来、過去、自己中心、自尊心、罪、プライド、外見、情欲、怒り、恐れ、健康などです。傷を握り続けることは、誰かに恵みを与えない権利があると言っているのと同じことなので、赦せない心も明け渡さなければなりません。この種のプライドは、神と私たちを引き裂く原因となる偶像なのです。

明け渡すということは、目標や野望を抱かないという意味ではありません。それとは反対に、神は私たちの心に志を与えてくださるお方です。神にすべてを明け渡すとき、自分のやり方より、この願いをかなえられる神が備える道のほうが遥かに良いということがわかるでしょう。ただ神のみこころに従い、神と共に私たちに用意された神のご計画のうちに歩めばいいのです。

あなたの過去、現在、将来を神に明け渡しましたか？

自分のやり方よりも神の備えられた道の方が良いということ信じますか？

第七週

赦し

独り子の血で私たちの罪を赦し、
自由を得させるほどに、神は愛と恵みに満ちている。

エペソ 1:7 NLT

墮落した世で生活する私たちは、痛みや傷の現実に直面しま
す。他の人の言葉や行いは、あらゆる方法で私たちの心の奥深
い部分を傷つけます。ネグレクト、虐待、暴力、裏切り、攻撃的な
言葉は、心に染み付いて苦々しさや恨みを生み、無意識のうち
にも、私たちは赦せない心を抱くようになるのです。

赦せないという傷は、毒を塗った矢のようです。この傷は私た
ちの防御を突き抜けて、その瞬間痛みます。そして後遺症は、
打たれた後の毒のように長く残ります。それは私たちの生活にま
で染み出し、考えを汚し、そしてヴィジョンを曇らせてしまいます。
これをそのまま放置しておく、心の奥にまで浸透し、生きる力、
愛する力、愛される力を麻痺させてしまいます。赦せない心を抱
くことは、毒を飲みながら他の人が死ぬのを待っているようなもの
です。赦せない相手よりも、自分に対する害の方が遥かに大き
いのです。

傷は、敵が私たちを束縛へと誘惑させるために使う餌のようです。私たちは傷つくと頑なになります。壁に囲われた街を想像してみてください。その壁は、その街を守るためにあります。私たちも同じように、自分の心を守ろうと、壁を作るのです。一度傷つけられると、二度と傷つけられないようにします。その壁が、石材でできた街には効果があっても、血肉でできている私たちの心は、同じようにはなりません。壁は悪いものを寄せつけませんが、良いものも跳ね除けてしまいます。私たちの心の周りに築いた壁によって、痛みや拒絶からだけでなく、愛やいのちある関係からも守りに入ってしまうのです。自分の心を守るのは自分自身だと思いがちですが、神は、その任務は神ご自身にあると言います。

あなたは誰に、どのような赦せない心を抱いていますか？

赦せない心は私たちを束縛し、いのちの木のうちに生きることができないようにさせてしまいます。ではなぜ、他の人を赦すことがそんなに難しいのでしょうか？いくつかその理由を説明してみましょう。

赦すことに葛藤する理由

1. 赦しを誤解しているため

他の人を簡単に赦せない第一の理由は、赦しを誤解しているからです。誰かを赦すという意味を本当に理解するには、まずは赦しとは何ではないということを学ぶことから始める必要があります。

・ 赦しは傷を過小評価することではない

あなたを不当に扱った人を赦すということは、「大したことないよ」「そんなに傷ついてないよ」と言うことではありません。過去にされたことや言われたことが正しくなく、あなたが傷ついた事実は、決して父なる神の御心ではありません。神の完璧な御心は、あなたを守り、育むことです。傷は、あなたから自由を奪ってしまうので、赦すことを選択し、受けた傷を握ることをやめる選択をするのです。

・ 赦しは過去の経験を忘れることではない

私たちは時に、誰かを赦すために過去の経験を忘れなければならないと考えることがあります。「赦し＝忘れる」は正しくはありません。現実、私たちは起こったことを忘れることはないでしょう。しかし神は、私たちの人生に素晴らしいことをしたいと願っておられます。神は私たちの心に癒しをもたらすことで、私たちは過去の経験からの痛みを追体験せず、その過去を覚えることができるようになるのです。神はどのようにすべてを新しくするか、あなたに示したいと願われています。

・ 赦すことと和解は異なる

私たちはよく「相手が謝ったら赦そう」と、赦しに条件をつけ和

解しようとしています。しかし、そうすることによって私たちに不当な扱いをした人たちに自由を奪われ、自分自身を彼らの人質にしているのです。傷を手放すことは、必ずしもその人と和解するという意味ではありません。ローマ12:18では、「可能な限り、すべての人と平和を保ちなさい」と言っています。神は、和解が最善の選択でないケースもあることを理解しておられます。傷つけた相手が和解しようとしていないなら、また同じ状況に直面したとき、更なる痛みや失望をもたらしてしまうでしょう。そのような時は、聖霊に導いていただくよう依り頼むのです。あなたのうちで赦しという奇跡が起こる準備をすることから始めましょう。

和解は双方向です。もしあなたが誰かを赦し、関係を修復したいと願うなら、そのプロセスを通して知恵を用いるのです。相手のうちに以下のことを見出だせれば、和解への扉は開かれるでしょう。

- **悔い改め** : 間違った行いから方向転換し、
反対の方向へ歩んでいる
- **償い** : 物事を正そうとしている
- **信頼回復** : 言行一致していることを示している

2. 理不尽だと感じるため

自分を傷つけた人を赦せない第二の理由は、彼らを大目に見るのは理不尽だと感じるからです。私たちの思いの中では、彼らが赦しを受けるのに値しないと判断します。しかし神は屈辱で赦されたり、善行の故に赦されるのではありません。だから、ただ神

の恵みに感謝です。なぜなら私たちも赦しに値しない者なので
すから！

マタイ18:21~35を読みましょう。このたとえ話を通して、イエス様は私たちに、受けるに値しない深い赦しを説明しています。イエス様は、赦しに関してどのような命令をされましたか？

イエス様はペテロに、1日490回赦しなさいとおっしゃいました。3分に1回ですよ！私たちの思いがどれだけ速く動いたとしても、この数はありえません。赦さない債務者のたとえ話の中で、しもべが王から何百億円を借りましたが、彼は憐れみを乞い、主人は彼の借金を免除しました。私たちも罪人として、返済しきれない負債を抱えています。しかし神は、イエス様の血潮によって私たちに対する偉大な憐れみを示し、私たちの負債を完全に支払ってくださいました。私たちは、充分すぎるほどに赦しを受けているのです。

そのしもべの友達も、そのしもべに数万円を借りていました。これは少額ではありませんでしたが、しもべはもっと多額を免除されました。彼は主人から示された信じられないほどの憐れみによって、他の人に対しても憐れみを表すことができたはずでした。私たちは充分すぎるほどに赦されているのですから、すでに受けているものを他の人にも与えるべきです。赦された者は赦すのです！

あなたがすでに赦されている罪に視点を置いたとき、あなたに不当な扱いをした人を手放すことができますか？ あなたは神からの赦しを、あなたを傷つけた人を握り続ける権利と引き換えますか？

3. できないと決めつけているため

私たちが赦さない第三の理由は、赦す力がないと思っているからです。それは、悪魔のささやきです。私たちは、敵の声を聞き分け、黙らせなければいけません。人間の力では、私たちに
対して犯された大きな過ちを赦すことはできないかもしれません。しかし、このクリスチャン生活は、自分の力で歩いていく必要はないのです。私たちは、神の超自然的な力によって強められる
のです。

IIコリント 12:9 を記入

この聖書箇所では、パウロが困難にあるとき、信じられないことが起こったと言っています。キリストの力が働いたのです！赦しは私たちに敗北ではなく、反対に、勝利を与えます。

赦しは選択であり、感情ではありません。日々、選択する必要があるのです。 私たちは赦せそうになるまで待つ傾向にあります。もし私たちの人生が感情によって決定づけられるなら、この世の現実流されて生きることになってしまうでしょう。神はあなたを新しい現実招いておられます。

もし私たちが神を大胆に信じ、まず赦すことを選択するなら、感情はその決断についてくるでしょう。そしてただ単に周りの状況に「反応する」のではなく、いのちの木のうち生きることを選択することができるのです。覚えていてください。まず選択し、そしてあとから感情がついてくるのです。

赦された者は赦す

イエス様によって示された大きな赦しに応じて、私たちも他の人を赦します。イザヤ1:18～19を読んでください。この聖書箇所では、私たちの「罪が緋のように赤くても、イエス様が雪のように白くなる。紅のように赤くても、羊の毛のようになる」と言っています。この箇所の最後に「もし喜んで聞こうとするなら」とあるのを忘れないでください。赦しは任意ではなく、すべてを益とされる、愛する父なる神からの命令なのです。赦された者は、赦すのです。

無慈悲、憤り、怒り、わめき、そしりなどすべてを、一切の悪意と一緒に捨てなさい。互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

エペソ 4:31～32 新共

ローマ5:6では、私たちがまだ罪人であったとき、神はイエス様を送られ、私たちのために死んでくださったと言っています。赦

しを理解するときに重要なのが、自分がまず赦される経験をしないと、他の人の悪を赦すことはできないということです。赦すことに葛藤するのは、神がしてくださったことを完全に理解していないからかもしれません。私たちの過去、現在、そして将来の罪は完全に赦されています。それは、神が私たちの罪を忘れてくださるというより、思い出さないでいてくださるのです。神は私たちの罪を、決して繰り返し咎めたりしません。なぜでしょう？それは、神が私たちとの関係を築きたいと強く願われているからです。

イザヤ 43:25 を記入

赦さないという罠

つまずきとは、私たちが正しく公正だと考えているものを侵害する何かです。敵は、私たちを人質として捕らえ、神が与えてくださっている自由へと進ませないように、悪やつまずきを与えるということを頭に入れておく必要があります。つまずきという言葉はギリシャ語で「餌」を意味する“scandalon”から来ています。旧約聖書の時代では、動物を罠にかけたいとき、枝で穴を覆い、餌 (scandalon) をその上に置いて動物をおびき寄せていました。

サタンは、赦させない心と束縛の罠へとおびき寄せるために餌としてつまずきを与えます。それを握りしめることで、私たちは自分を傷つける人を罠にかけていると思っていますが、実際は、罠にかかっているのは自分自身なのです。

以下は、敵が私たちを赦さないように誘惑するための5つの罠です。イエス様も、つまずきを経験されたということがわかります。イエス様は完全な神であり、完全な人でした。私たちがどんなことに直面しても、イエス様もそれを経験され、耐えうる、乗り越えうるということを示すため、イエス様も今日私たちが直面する誘惑にあわれました。

私たちが…

裏切り：嘘をついた友人、離れていった配偶者、信頼を壊した親友などに裏切られる時…

不当な責め：誤解される、噂話や悪口を言われるなど不当に責められる時…

拒絶：配偶者、友人、信頼していた人に拒絶される時…

虐待：精神的、身体的、性的、言動による虐待を受ける時…

侮辱：恥ずかしい状況に立たされ顔に泥を塗られるなど、侮辱を受ける時…

イエス様も…

弟子の一人であり信頼していた友人、ユダに裏切られました。

いくつもの裁判で、不当に責められました。

一番弟子であったペテロから拒絶されました。

打たれ、拷問を受け、ののしられ、十字架にかけられ、虐待を受けました。

十字架上で、公の場で侮辱を受けました。

イエス様がなぜこのように苦しまなければならなかったのかを更に理解するために、ヘブル2:17～18(LB)を読んでもください。

イエスは、あらゆる点で、兄弟である私たちと同じになることが必要だったのです。そして初めて、イエスは、私たちにとってはあわれみ深く、神にとっては忠実な大祭司として、私たちの罪を取り除くことができましたのです。自ら試練と非常な苦しみを体験された主イエスだからこそ、試練にあえいでいる私たちを助けることがおできになるのです。

イエス様は、人間の身体をもってこのような経験をされたので、私たちが直面する痛みを理解されています。傷を抱えたままイエス様に近づく時、イエス様は「わたしも経験したのでよくわかる」と言ってくださいでしょう。イエス様は私たちの痛みに同情されるだけではなく、実際にこれらの困難を通られたので、他の人から受ける傷にどのように応答すべきかの例を示すことができたのです。

イエス様は死なれる前、「彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」(ルカ 23:34)と言い、十字架の上で手と足に釘を打ち、罵る人を赦すよう天の父に祈られました。実際、彼らは自分で何をしているのか分かっていました。彼らの恨みを味あわせるため、人の子を殺したのです。イエス様は、彼らが憎しみによって盲目になっていたと知っていましたが、天国の視点で彼らの行為を見られました。私たちもこれから、間違いなくつまずきに合うので、イエス様の思考をもって備えなければいけません。

人間関係における最も重要な祈りは、他の人をイエス様の目を通して見られるようにしてくださいという祈りです。神が見るように他の人を見るようになれば、彼らが私たちに何をしようと何をしまいと、イエス様のように愛で溢れた人になるでしょう。

傷のない人生を生きる

どうすれば、私たちは自分の心を聖く、傷のない人生を保つことができるのでしょうか？

以下の3つのステップを見てみましょう。

1. 自分の不完全さを認める

神が私たちを赦された以上に、他の人を赦す必要はありません。

ローマ 3:23 を記入

.....

マタイ 10:8 を記入

.....

2. 本物の敵を見る

私たちの敵は人ではなく、悪魔です。 イエス様は釘と槍を持つ人々をサタンの暗闇の計画に知らずに参与している人として見なされました。傷ついている人は人を傷つけますので、彼らにも何らかの過去があるのです。私たちは、人を愛し、悪魔を憎むべきです。

I ペテロ 5:8 を記入

.....

3. 神の愛を受け取る

これによって、他の人を愛する力が与えられます。もし私たちが他の人を愛することに困難を感じるなら、神からの愛を完全に受け取っていないからかもしれません。

I ヨハネ 4:10 を記入

.....

赦しを行動に移す

聖書が教える赦しへのステップは、社会の主流な方法とは異なり、直観に相いれません。しかしこれに従うなら、あなたの人生は変わります。私たちの考えと神の考えは異なります。I コリント 1:25～28(新共)を読んで、神の方法に従うための正しい視点を学びましょう。

神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。
兄弟たち、あなたがたが召されたときのことを、思い起こしてみなさい。人間的に見て知恵のある者が多かったわけではなく、能力のある者や、家柄のよい者が多かったわけでもありません。
ところが、神は知恵ある者に恥をかかせるため、世の無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、世の無力な者を選びました。また、神は地位のある者を無力な者とするため、世の無に等しい者、身分の卑しい者や見下げられている者を選ばれたのです。

赦しへの日々のステップ

1. 自分を傷つけた人のために祈る

この世は、悪に悪を報いて、自分を傷つけた人を疎外すれば、もう傷つけられないと言います。しかしイエス様は、結果を変えるには私たちの反応を変える必要があると言われます。

マタイ 5:43～44 を記入

2. 自分を傷つけた人を祝福する

私たちにできることは、自分を傷つけた人のことを悪く言わないだけかもしれません。しかしイエス様は、さらに一歩先に進みなさいと言われます。彼らを祝福するのです。祝福するとは、「その人のことを良く言う」という意味です。これは現代の文化においては簡単ではありませんが、聖書がどのように言っているか見てみましょう。

しかし、いま聞いているあなたがたに、わたしはこう言います。あなたの敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行いなさい。あなたをのろう者を祝福しなさい。あなたを侮辱する者のために祈りなさい。

ルカ 6:27～28 新改

ローマ 12:14 を記入

3. 自分を傷つけた人に善を行う

これをするには、私たちの考え方を変える必要があります。これは、悪に善で応えるということではなく、他の人に善だけを行うとコミットすることです。誰かが私たちに仕えている、攻撃しているにかかわらず、私たちはみことばが教えるように、善で応答すべきなのです。

あなたの生活の中で、神に手放せていない人はいますか？
あなたは彼らに仕返ししようとしていますか？

自由を宣言する

以下のみことばは、ローマ12:17～21を基にした宣言です。声に出して読んでみましょう。

私は悪に悪を報いません。すべての人が良いと思うことを図ります。私は、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちます。自分で復讐せず、神の怒りに任せます。復讐は神のすることだと約束されているからです。もし私の敵が飢えたなら、食べさせます。渴いたなら、飲ませます。悪に負けず、善をもって悪に打ち勝ちます。

赦しの祈り

これは、あなたを傷つけた人を手放すための赦しの祈りです。あなたが赦すべきだと感じる人の名前を入れて、以下の文を声に出して読んでみましょう。

主よ。_____を愛さずに、腹を立てていました。
私の内に赦せない心があります。
自分で傷を握りしめているこの罪を赦してください。
主よ、私を傷つけた人を赦す力を与えてください。
今、あなたに手放します。
彼らのために祈り、祝福し、善を行う力を与えてください。
私の人生の鎖を解き放ってください感謝します。
イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

自分自身を赦す

過去を振り返ることは、最も困難なことかもしれません。前進しているとき、頭の中で過去に犯した罪の映像が浮かびます。過去の失敗を思い出すと、平安と自由は去っていきます。私たちは過去にひどいことをしてしまい、もう手遅れだと感じるがため、自分は赦されないと考えてしまいます。

意外かもしれませんが、実はこのような思いは、多くのクリスチャンが抱くものです。私たちは犯した失敗によって立ち止まり前に進めず、神の計画の内に歩めなくなるので、敵は私たちに失敗を思い出させるのです。変えることのできない辛い経験を思い出す度に、自分の過去を何度も繰り返し悔い改めなければと感じます。この考えは、善悪の知識の木から来るものなのです。

あなたは過去の失敗をよく思い出しますか？

神に赦しを求めたにもかかわらず、自分の過去の罪を引きずっていますか？

.....

.....

過去に向き合う

過去が頭をもたげるとき、一般的にしてしまう3つの反応…

1. 過去を隠そうとする

「過去を忘れなさい」という言葉を聞いたことがありませんか？ 現実、過去を忘れることはできません。忘れてもいつか顔をのぞかせる 때가 来ます。時間が傷を癒すともよく聞きますが、それも事実ではありません。聖霊によってでしか、癒されません。箴言 28:13(新改)には「自分のそむきの罪を隠す者は成功しない。それを告白して捨てる者はあわれみを受ける。」とあります。また聖書は、癒されるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさいと言っています(ヤコブ5)。

2. 自分を責める

私たちの中には後悔に生きている人もいるかもしれません。過去からの「タラレバ」のシナリオ上で生活しています。しかし「タラレバ」は罨です。私たちは過去を変えられません。敵は、この考えによって私たちを苦しめます。ダビデ王はこのような苦悩を経験しました。ダビデ王はある兵士の妻と姦淫の罪を犯し、その女性が身ごもったとき、その兵士を殺しました。預言者ナタンはダビデに罪を示し、ダビデは悔い改め、神に叫びました。詩篇38:4～8で、「私の咎が、私の頭を越え、重荷のように、私には重すぎるからです。私の傷は、悪臭を放ち、ただれました。それは私の愚かしさのためです。私は深くうなだれ、一日中、嘆いて歩いています。私の腰はやけどでおおい尽くされ、私の肉には完全なところがありません。私はしびれ、砕き尽くされ、心の乱れのためにうめいています。」ダビデは自分自身を赦そうとしないことが、精神的苦痛に加え、身体的苦痛さえも引き起こすことを示唆しています。

3. 責任転嫁する

この戦略はアダムとエバの時代から使われています。神がアダムに、なぜ命令にそむいたのかと尋ねたとき、アダムはエバのせいにしました。そしてエバも、蛇のせいにしました(創世記3:12～13)。私たちは、自分の行動の責任を負い、悔い改めて前に進まなければいけません。

過去に向き合う不健全な方法がある中、最も良い方法は何でしょうか？みことばを読み、私たちの過去に対する神の視点を理解することです。神は、私たちがイエス様を心に迎え入れるなら、古い自分は過ぎ去って、新しく生まれ変わると言われています。頭では理解できるかもしれませんが、実際にはどうでしょうか？

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。
古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

I コリント 5:17 新改

使徒パウロには、クリスチャンを迫害し、殺した酷い過去がありましたが、この事実を理解したので、神の恵みを受け、自由のうちに前に進むことができました。

私は以前は、神をけがす者、迫害する者、暴力をふるう者でした。それでも、信じていないときに知らないでしたことなので、あわれみを受けたのです。私たちの主の、この恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに、ますます満ちあふれるようになりました。「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた」ということばは、まことであり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。

I テモテ 1:13～15

新改

過去を乗り越える

過去を過去のものとするために、私たちは考え方を変えなければいけません。古い考え方は、神のみことばには沿わないので、いのちを生むことができません。聖書が言っていることを受け入れ、真理によって私たちの思考を変えれば、私たちもパウロのように自由のうちに歩めるようになります。過去から解放され自由のうちに歩むには、以下のことをする必要があります。

1. 自分の力で救しを得ようとしない

ほとんどの人が福音を誤解しています。悪いことをやめ、善いことをして努力を積み、天国に行けるという解釈です。それは間違いです。代価はもうすでに支払われました。赦しは受けるもので、自分の力で得るものではありません。もし神からの赦しを自分の力で得なければと思っているなら、私たちは他の人を赦すにもその人の努力を要求するようになるでしょう。

福音とは…

あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることはないためです。エペソ 2:8~9 新改

2. 信仰によって神からの赦しを受ける

こうすることで私たちの心は自由になり、他の人を赦せるようになります。

3. 真理をもって悪に打ち勝つ

一度赦されれば、二度と過去を思い出さないなら、楽だと思いませんか？しかし現実、敵は毎日のように過去を思い起こさせます。敵は生活の中で弱い瞬間を狙って私たちの失敗をささやい

できます。その度に、敵に対抗しなければいけません。思い出してください。敵はクリスチャンの告発者であり「偽りの父」(黙示録 12:10)なのです。真理を知り、真理を語ることによって悪に打ち勝つのです。

I コリント 1:30 を記入

ローマ 8:28 を記入

赦すことは簡単だとは、神は言われません。事実、みことばの教える通りに従うには、勇気と力が必要です。しかし、みことばに従えばうまくいくのです。みことばは、私たちが新たに生き、過去からも解放された義の道に導いてくれます。そこには罪悪感も、覆い隠すものも、恥もなく、ただ自由があるのです。

これらのことが真理であると信じるには、信仰が必要ですが、信じれば、人生が変わります。神のことばが真理であると信じましょう。新しく、聖く造り変えられると信じましょう。神があなたを完全にされます。人生は、今までと同じではありません。あなたが自分自身を、神があなたを見る視点で見始めると、他の人への視点も変わってくるのです。手を広げて傷を手放し、豊かな人生を受け取りましょう。そうするなら、いのちの木のうちに生きるようになるのです。

第八週

ことばの力

死も生も舌の力に支配される。

箴言 18:21a 新共

私たちの言葉は、神にどれくらい魂を明け渡しているかを示す霊的尺度です。もしみことばによって思考を新たにしたら、学んだことが会話の中で必ず反映されます。しかし、もし私たちが古い習慣や考えを明け渡すことを拒むなら、言葉は裏切って、真の霊的状态を露呈するでしょう。魂が神に服従しておらず、神にすべてを明け渡していないのなら、舌が何よりも先に私たちの真の姿をバラしてしまうのです。

ルカ 6:45 を記入

マタイ12:34～35を読みましょう。イエス様は、私たちの心と、口から出る言葉との関係について何と言っていますか？

あなたの日々の会話は、自分の霊的状态をどのように語っているでしょうか？
あなたの言葉は、神が自分の内に住まわれているということを映し出していますか？

イエス様は、思い煩いと世の富に消耗される人生は、裁きをもたらす、結実のない言葉に繋がると言っています。反対に、神に明け渡し聖霊に満たされた人生は、恵みと憐れみ、愛、力に溢れた言葉を生むでしょう。

神のことばの力

信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。 へブル 11:3 新改

ことばによって、神は全宇宙を創造し、ことばによって、私たち
に話しかけてくださいます。聖書を通して何千ものことばによっ
て、神はご自身を示しておられます。ヨハネ1:1では、イエス様が、
今も生きて息をしている神のことばだと言っています。言葉、言
語は神のアイデアで、神のことばは、文字通り私たちにとっ
ていのちなのです。神は人をご自身の^{かたち}像に似せて造られたので、私
たちの言葉にも力があります。イエス様はすべてにおいて私たち
の模範であり、イエス様の歩みに従わなければなりません。こ
こで、神のことばの力について書かれた聖書箇所を読み、その中
で、イエス様が語られたとき何が起こったかを示す箇所に下線を
引きましょう。

マタイ8:26 (新共) - イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。信仰の薄い者たちよ。」そ
して、起き上がって風と湖をお叱りになると、すっかり風になった。

マタイ8:32a (新共) - イエスが、「行け」と言われると、悪霊どもは二人から出て、豚の中
に入った。

ヨハネ11:43b~44a (新改) - イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。「ラザロよ。出て
来なさい。」すると、死んでいた人が、手と足を長い布で巻かれたままで出て来た。

これらの聖書箇所から分かるように、語られる神のことばは、癒
し、平安、解放、そしていのちをもたらすのです！

二つの王国

イザヤ14章には、サタンの墮落について詳しく書かれています。12～14節に、「暁の子、明けの明星よ。どうしてあなたは天から落ちたのか。国々を打ち破った者よ。どうしてあなたは地に切り倒されたのか。あなたは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山にすわろう。密雲の頂に上り、いと高き方のようになろう。』」とあります。サタンの反逆の言葉の力によって、闇の王国が建て上げられました。サタンは最初に心の中で、反逆の言葉を語りましたが、サタンや悪魔たちは私たちの思いに反逆の言葉を話し続けています。この事実には無知であるならば、私たちはサタンの協力者となって、話す言葉によって他の人だけでなく自分自身をも傷つけることになってしまいます。口を開いて話すたび、私たちはいのちの御国か、死の王国かのいずれかを拡張するのです。

私たちは救われたとき、天国に即座に送られはしませんでした。なぜなら私たちはイエス様の体の器官だからです。失われた者を探し、この世に違いをもたらすためのイエス様の手、足、心、そして口なのです。しかし私たちは、自分の力では天の御国を拡張させることはできません。

この世でイエス様を表して生きること、私たちに助けが必要であることをご存知の神は、聖霊を送ることによって、私たちに力を与えるという偉大な成功を治められました。イエス様は弟子たちに、イエス様が御国に去って行くことは私たちににとって益だと言われました(ヨハネ16:7)。イエス様は完全な神でありながら、完全な人間でした。イエス様は人間の体を持って地を歩まれましたが、一度に一つの場所にしか存在できなかったのです。しかし私たちは地上のどこにいたとしても、聖霊に満たされ、生涯導きを受けることができるのです。イエス様は言われました。「けれども真理の御霊が来る時には、あなたがたをあらゆる真理に導いてくれるであろう。それは自分から語るのではなく、その聞くところを語り、きたるべき事をあなたがたに知らせるであろう。」(口語)つまり、聖霊を通して神は、私たちが何を言うべきかを

も含め、すべての必要な導きを示してくださるのです。

あなたは言葉を意図的に用いて神の御国を拡張し、隣人に仕えようとしていますか？

.....

.....

コントロールの問題

エデンの園でサタンは、エバを誘惑する言葉をかけました。アダムとエバがサタンの提案について話している時、エバは知らぬ間に、自分の言葉によって死の王国を拡張してしまいました。神は、「あなたが妻の言葉を聞いて、食べるなど、わたしが命じた木から取って食べたので、地はあなたのためにのろわれ、あなたは一生、苦しんで地から食物を取る。」(創世記3:17b 口語)とされました。サタンはエバに噛み付いて毒を注いだり、巻きついて殺すようなことはしませんでした。サタンはエバに死を語ったのです。エバはアダムと悪い考えについて話し合うことによって彼を死へ陥らせてしまいました。自分の言葉をコントロールすることが、どれだけ重要なことか分かりますか？

私たちの言葉を制御するには、いのちと死の力を持つ、自身の一部、すなわち舌をコントロールしなければいけません。

わたしたちは皆、度々過ちを犯すからです。言葉で過ちを犯さないなら、それは自分の全身を制御できる完全な人です。

ヤコブ 3:2 新共

最も深い痛みや心の傷のいくつかは、誰かが発した言葉によるものです。反対に、私たちの良い経験のいくつかは、「あなたを愛している」などといった誰かが発する肯定的な言葉にあります。そのような言葉は素晴らしいですが、愛している人にさえ、それを伝えられない時があります。私たちの言葉は、人を破壊することも、建て上げることもできるのです。

与えられた1日の中でする会話ひとつひとつを思い出してみてください。あなたの口から出る言葉は、心で信じていることを映し出していますか？クリスチャンとして、私たちの言葉や行為は、神に対する愛を映し出すべきです。もしそうでないなら、私たちの心と言葉がどこで食い違っているか見つめる必要があります。イエス様の兄弟ヤコブは、信仰があり神を愛していても、態度や行いがいいなら欺いているのと同じことであると述べています。ヤコブ3:2で、舌を制御できれば、あらゆる面で自分自身を制御することができると言っています。

以下の言葉を読んで、いのちのことばと死の言葉が他の人の人生にどのように影響するか考えてみましょう。

いのちのことば

あなたを愛している。
あなた素晴らしい。
とても素敵ですね。
可能性がありますね。
頭が切れますね。
思いやりがありますね。
あなたならできる！
よく頑張ったね。
あなたを赦します。
信頼しています。
あなたのおかげで人生が
より良くなった。

死の言葉

あなたが嫌い。
生まれて来なければ良かったのに。
ブス。
大した人間になれない。
バカ。
自己中心。
頑張る必要もない。
あなたは失敗作。
もう二度と会いたくない。
あなたと別れたい。
あなたは間違ってしまった子。

舌の影響力

ヤコブ書は、私たちの話す言葉の力について詳しく書かれています。3章でヤコブは、言葉がからだ全体を汚すと言い、そしてその意味がよくわかるように3つの描写を用いています。

1. くつわ

舌は小さく、重さは60gくらいしかありませんが、力があります。小さな金属片が馬を引き回すことができるように、舌は私たちの人生の方向を握っているのです。(ヤコブ3:3)

2. 船のかじ

船は大きく、強い風で動きますが、小さなかじによって操縦することができます。私たちはすぐに大きなことに目を奪われ、舌という小さな問題が人生の向かう方向を定めてしまうということを忘れてしまいます。舌に自分自身をコントロールさせてしまうのか、それとも、自分が舌をコントロールして運命を方向づけるのか。どちらも可能なのです。(ヤコブ3:4)

3. 小さな火

マッチ一本が大きい森を燃やしてしまうように、たとえ私たちの言葉が短くても、激烈でありうるのです。私たちが言った、あるいは言われた最も傷つける言葉のいくつかは、辛辣な一言や一語です。その尖った乱暴な言葉は、言った当人はすぐに忘れてしまうかもしれませんが、受けた人には衝撃が残るのです。(ヤコブ3:5)

何百もの消防士にも消すことができない火によって、広大な森が破滅することもあります。これに似ているのですが、言葉が信念を破壊することがあります。時に些細で軽い言葉であっても、有害

になりえるのです。不注意な言葉が大きな傷を生みます。本読みが苦手で、来る日も来る日も読むことができない子どもを、親がヤキモキしているとしましょう。ついに堪忍袋の緒が切れ、「一体どうなっているの？ 全く読めてないじゃない！」と叫んだとします。その言葉は、子ども自身を貶め、努力することさえ諦めさせる可能性があります。心無い言葉は誰かの人生の歩みを変えてしまうくらい尾を引き、広大な破滅をもたらすのです。

ヤコブ 3:7～8 を記入

わたしたちは舌で、父である主を賛美し、また、舌で、神にかたどって造られた人間を呪います。同じ口から賛美と呪いが出て来るのです。わたしの兄弟たち、このようなことがあってはなりません。泉の同じ穴から、甘い水と苦い水がわき出るのでしょうか。わたしの兄弟たち、いちじくの木がオリーブの実を結び、ぶどうの木がいちじくの実を結ぶことができるのでしょうか。塩水が甘い水を作ることもできません。 ヤコブ 3:9～12 新共

あなたは自分自身についてや、他の人について言う事柄で、話してすぐに後悔することはありますか？

どのように舌を制御するか

話し方を変えるには、神の助けが必要です。そして、変えることは可能なのです。私たちは神の像に似せて造られたので、建て上げ、癒し、励ますいのちのことばを語るようにされているのです。いのちの王国を拡張させる言葉を話せるようになる原則を見てみましょう。

1. 心を守る

イエス様は、マタイ12:34で「心に満ちていることを口が話す」と言われています。口から出る言葉は、私たちの内側を映し出すのです。舌を制御したいと願うなら、私たちの耳から入ってきて魂を満たそうとする余計なものを制御する必要があります。「良い人は、良い倉から良い物を取り出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を取り出すものです。」(マタイ12:35)これは「ごみを入れればごみしか出てこない」の原理と同じです。

詩篇 51:10 を記入

.....

.....

私たちの中には、批判的で、けなす言葉が日常茶飯事で、怒鳴ることがコミュニケーションの取り方となっているような家庭で育った人もいるでしょう。もしそのような環境で育ったなら、もうすでに、物事を違うやり方でしょうと考えているかもしれません。しかし、誰かに対して言葉で攻撃し、後になってやらなきゃよかったと思いい、落胆を経験しているかもしれません。なぜなら、幼い時に手

本にした言葉による攻撃を見て、同じように反応してしまうからです。これは世代の罪と呼ばれる危険なサイクルです。世代の罪は、その罪が認識され打ち壊されるまで、家系内で世代から世代へと受け継がれていきます。このサイクルを打ち壊す方法のひとつは、私たちの思考にフィルターを取り付け、有害な影響や無神経で悪意ある言葉から自分自身を守ることです。

2. 舌を守る

尺度は何かの最大値を測ったり割り出したりするために使うツールです。私たちの舌に尺度を置くなら、話を止めるべき時が分かるでしょう。コロサイ3:8では、「しかし今は、あなたがたも、すべてこれらのこと、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。」とっています。かつて使っていた悪い言葉を言わないと決断しなければいけません。今日、その決断をし、その決断を日々成し遂げる必要があります。

詩篇 141:3 を記入

.....

.....

箴言 10:19 を読みましょう。喋りすぎるとどうなりますか？
思慮深い人はどうするでしょうか？

.....

3. 良い言葉話す

料理に美しさを加えるために、お皿の上に置く飾りのように、口から何かを発する前に、他の人の耳に感じの良い言葉話すのです。もしそうしようと決断するなら、どのようになるでしょうか？

エペソ 4:29 を記入

難しいこと、否定的に聞こえることを言わなければならない時でも、他の人を祝福し、励ますような話し方をすることができます。悪い知らせでさえ、いのちを与える方法で伝えることができます。耳の痛い忠告でさえ、正される人に益となるように言うことができます。

時に、何も言わないことが最善の場合もあります。イエス様は残酷な行為に耐えられたときでさえ、言葉を慎まれたことが何度もありました。イエス様は罪を犯したことはありませんでしたが、苦難を通して従順を学ばれたと聖書は言っています。「ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。」(I ペテロ 2:23 新改)

賢明な言葉

箴言は、舌をどのように用いるべきかの多くの教えで満ちています。

以下のみことばを読み、それぞれの教訓を書き出しましょう。

箴言4:24

箴言15:1

箴言16:13

箴言16:28

呪いを打ち破る

時に、家族全体はある言葉で特徴付けられます。「負け犬の集団。あの家族で誰一人として学校を卒業していない。」「感情的な人たち。おばあちゃんも怒りっぽかったそうだ。」罪と、その結果は、世代から世代へと受け継がれていきます（出エジプト20:5）。あなたの家族にどのような世代の罪があったとしても、感謝なことに、あなたはその罪から解放されることができるのです！あなたがまず自由のうちへと歩み、そして千代にわたって神の愛と祝福を流す第一世代にあなた自身ができるのです（出エジプト

20:6)。ですから、あなたに語られることのなかった言葉に光を照らしてくださるよう神に求めるのです！

他の人から言われたことのある死と呪いの言葉を書き出してみましょう。

.....

自分自身に対して言ったことのある死と呪いの言葉を書き出してみましょう。

.....

他の人に対して言ったことのある死と呪いの言葉を書き出してみましょう。

.....

勝利の声明

もしあなたが否定的な言葉を受けている立場にあるなら、感謝なことに、あなたは完全に癒され、それらの言葉の影響から自由になることができます。以下は、あなたの受けた有害な言葉から自由になるための4つのステップです。今まで言い聞かされていた嘘を見破るようになるため、このステップを通じて祈りましょう。

1. 告白する

癒しは、自分が間違っていたと認めることから始まります。まずは、今まで真実でないことを信じ、敵の嘘に同調していたことを認めなければいけません。

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

Iヨハネ1:9 新改

2. 悔い改める

悔い改めとは方向転換することです。悔い改めるとき、方向を変えて、今までの道とは反対の方向に進んで行くのです。今までのように敵に同調するのをやめ、思考を新たな方向に向かせます。誰かがあなたの人生で、嘘を押し付けてあなたを傷つけたことがあるなら、彼らを赦し主に手放すのです。

そういうわけですから、あなたがたの罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。

使徒3:19 新改

罪を告白し、敵の嘘を拒むとき、私たちは神の真理に自分自身を再調整することができます。神のことばにある確信で武装すれば、私たちは敵以上の権威を持ち、生活から敵の嘘の影響を取り除くことができます。

3. 追い出す

敵に、私たちに対する破壊的な言葉や出来事を用いさせ続けてはいけません。イエスの御名の權威により、敵に去るよう命令するので。

だから、神に服従し、悪魔に反抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げて行きます。
ヤコブ4:7 新共

4. 祝福する

一度敵が追い出されれば、みことばのうちに見出すことのできる真理と約束でその場所を満たしましょう。神があなたを見る正確な視点を宣言し、自分自身に対していのちを語りましょう。

私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。
エペソ2:10 新改

いのちの宣言

以下のことばを声に出して読み、神のことばから真理を受け取りましょう。

- ・ 私は神の超自然的な知恵により祝福されており、人生に明確な方向性がある。
- ・ 私は創造力、勇気、能力、豊かさにより祝福されている。
- ・ 私は強い意志、自己制御、自制心により祝福されている。
- ・ 私は素晴らしい家族、良き友、健康により祝福されている。
- ・ 私は信仰、恵み、満たしによって祝福されている。
- ・ 私は成功、超自然的力、昇進、神の守りによって祝福されている。
- ・ 私は従順な心、人生に対する肯定的な態度によって祝福されている。
- ・ 私は今まで私にかけられた呪い、私に対する否定的な悪い言葉が、今、イエスの御名によって打ち破られたと宣言する。
- ・ 私はどこに行っても祝福されている。
- ・ 私が手を差し伸べる全てのものは繁栄し、成功する。
- ・ 私は祝福されている！

第九週

生きているみことば

強く、雄々しくあれ。

あなたは、わたしが先祖たちに与えると誓った土地を、
この民に継がせる者である。

ただ、強く、大いに雄々しくあって、
わたしの僕モーセが命じた律法をすべて忠実に守り、
右にも左にもそれではならない。

そうすれば、あなたはどこに行っても成功する。

ヨシュア 1:6～8 新共

ある人が、あなたの将来、繁栄、成功を保証するプレゼントをくれたと想像してください。いかなる状況をも突破し、敵に立ち向かう力をくれるプレゼントです。罪、破滅、失望から守ってくれるプレゼントです。そんなプレゼントを受け取りたいと思いませんか？そのすべての力は、聖書というプレゼントを通して受けることができるのです！神のことばを読み、生活に適用するなら、聖書に記された約束を成就される神を経験するでしょう。

あなたは定期的に神のことばを取り入れ、自分の古い考え方と真理を入れ替えていますか？

もしそうでないなら、何がみことばを読むことの妨害になっていると思いますか？

ヨハネ 1:1～3 を記入

イエス様はこの世の初めから存在され、イエス様がことばでした。イエス様と神のことばは一つであり、同じでした。これには、深遠な意味が隠されています！ イエス様のうちに、ことばは人のかたちをもって表され、ことばを通して、聖書のうちにイエス様が表されているのです。もしイエス様が肉の姿で今、あなたの目の前に現れるなら、病気の人やとらわれた人を癒し、自由にできるお方だと信じるのは、難しくはないでしょう。イエス様のその同じ力が、みことばのうちにあります。神のことばには力があるのです！ みことばが生活の中で現実となるために、真理を受け取る必要があります。時に、みことばに力がないと感じるなら、それは、みことばが変ったからではなく、みことばと信仰を別で考えてしまっているからです。イエス様を愛したいと思うなら、みことばを通してイエス

様を知り、みことばを人生の優先事項にするのです。更に力強められたいと思うなら、更にみことばを取り入れる必要があります。そうすることで、みことばが生きたものとなるのです。

ヨハネ 6:63 を記入

聖霊ということばは、ギリシャ語で「プニューマ」と言い、「神の臨在、もしくは神の息」という意味があります。聖書は、人生をより良くするために学ぶ本の中の言葉集ではなく、力ある真理なのです。聖書は充足をもたらす力ある、神の生きた息なのです。

イザヤ 55:11 を記入

みことばは、文字通り、霊でありいのちなのです。自分の頭だけで聖書を理解しようとするなら、乾いた力もないものとなるでしょう。みことばを学ぶことは大切ですが、その過程において神の霊が共になければ、ただ紙に印刷された文字を読むのと同じになってし

まいます。もし、聖書を今まで楽しいと感じたことがなくても、安心してください。そんな経験はあなただけではありません。度数の合った眼鏡なしで小説を読もうとするときのように、私たちの多くは、理解できるよう助けてくださる方なしで聖書を読もうとしています。みことばが生きたものとなるために、私たちには神の霊が必要なのです！

しかし、わたしにはヨハネの証言よりもすぐれた証言があります。父がわたしに成し遂げさせようとしてお与えになったわざ、すなわちわたしが行っているわざそのものが、わたしについて、父がわたしを遣わしたことを証言しているのです。また、わたしを遣わした父ご自身がわたしについて証言しておられます。あなたがたは、まだ一度もその御声を聞いたこともなく、御姿を見たこともありません。また、そのみことばをあなたがたのうちにとどめてもいません。父が遣わした者をあなたがたが信じないからです。あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。ヨハネ 5:36～39 新改

新約聖書に、イエスが神の子であるのか正当性を問うパリサイ人が登場します。パリサイ人は当時、誰よりも聖書をよく知る律法学者たちでした。彼らは、旧約聖書のはじめの5巻を暗唱できるほどでした。しかし上記の箇所ではイエス様は、知識的に聖書を理解するよりも、もっとよく神を知ることができる方法を示されました。イエス様はパリサイ人たちに「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。」と言われました。その日の知恵を得ようと、ただ単にみことばを読んでいるだけなら、重要な部分を見逃してしまうのです。

聖書は、生きたものとなり、イエス様の真のご品性を表し、あなたの人生を本当に変えることができます。

あなたは聖書を義務感から読んでいますか？

それとも、神を知りたいという思いから読んでいますか？

啓示されたことば

聖書の最も驚くべき話のうちのひとつは、若いマリヤが救い主の母になるということを伝える天使ガブリエルとのやりとりです。ルカ 1:26～37に書かれてある詳細を見てみましょう。

マリヤのはじめの応答は、どのようにして処女が子を産めるのかという疑問でした。37節でガブリエルは「神にとって不可能なことは一つもありません」と言いました。「一つもありません」という言葉は、ギリシャ語で2つの単語からなり「no rhema」です。「レーマ」とは、ギリシャ語で「ことば」で、その意味は「啓示されたことば」です。説教を聞いている最中、神の啓示されたことばを経験したことがあるかもしれません。それは、牧師の口から飛んだことばがあなたの心に着地するような感覚です。また、聖書を読んでいる最中に、啓示されたことばを経験したことがあるかもしれません。聖書のページから飛び出したことばが、あなたが直面している問題に、直接語りかけてくれるような感じですか。それは、みことばが働いているということなのです。みことばが啓示されるとき、神の語られることばは、みことばが成就するための力となるのです。

ルカ 1:38 を記入

御使いの知らせに対するマリヤの応答は、どのようなものでしたか？

みことばがマリヤへ啓示されたので、彼女はそれを信じました。それ以前からマリヤは、神が自分に語られることは真実であると心から信じていました。そのため、「レーマ」がガブリエルから示されたとき、マリヤはそれに従う準備ができていたのです。神があなたに語られるなら、あなたはそれに従いますか？みことばが理解できなくても、あるいは、聖書の約束がまだ成就されていなくても、神はあなたが理解することよりも、従うことを期待しておられます。私たちは、「神様。たとえ理解できなくても、あなたを信頼することを選択します」と言う必要があるのです。

神の「レーマ」を体験したときのことを分かち合ってみましょう。

神のことばを生活で生きたものとする方法

1. 神のことばを優先する

私たちは、自分にとって大切な物事のために時間を作ります。私たちの体がエネルギーのために食物を必要とするように、私たちの霊はみことばを必要としています。日々聖書を読むことに時間を注ぐことが、あなたにいのちをもらたすでしょう。

2. 読んだことを信じる

みことばは真理だと、信じることを選択しましょう。神は、信仰がなければ神に喜ばれることはできないと言っています。神のことばに信頼を置くなら、聖書を読むたびに信仰と確信が増すでしょう。

信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

ローマ 10:17b 新改

3. みことばを黙想する

みことばは、ただ読んで、そのままにしていはいけません。考えるのです。詩篇1:2は、義人は主の教えを喜びとし、昼も夜もそれを口ずさむと言っています。「黙想する」という言葉は反芻するという意味です。つまり、食物から栄養素だけを取り込んで飲み込み、そしてまた吐き出して嘔む。それを一日中嘔み続けることで、みことばを心に留め、聖書で言われていることができるようになるでしょう。真理をいつも思い巡らすことで、レーマや啓示が与えられ、信仰が動き出すのです。

神のことばを黙想する方法

1. 神のことばを声に出して言う

あなたの霊を強めるために、聖書の中から声に出して読む宣言を見つけましょう。みことばを声に出して言うことは、何が真理かを効果的に魂に思い起こさせ、また口からみことばが出る時、信仰を建て上げます。みことばの真理と約束を覚えることで、状況に応じて適切なみことばを語るができるようになります。例えばあなたが敵と戦っているとき、Iヨハネ4:4b(新共)のようなみことば用いると良いでしょう。「あなたがたの内におられる方は、世にいる者よりも強いからです。」もしそのみことばが一人称でないなら、個人的なものとしましょう。例えばルカ10:19を一人称に置き換えて読むのです。「確かに、神様は、私に、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。だから、私に害を加えるものは何一つありません。」状況が手に追えないとき、真理を思い巡らし、声に出すのです。付録にあるみことばは、あなたが直面する状況において助けになることでしょう。

以下のみことばを一人称で書き写し、個人的なものとしましょう。それらを声に出して読んでみましょう。

.....

ローマ8:37

詩篇27:1

2. 昼も夜もみことばを思い巡らす

もしあなたが、1日の活動時間16時間のうちの1時間だけしか神に焦点を合わせていないなら、この世での時間の方が遥かに多いので、神や真理よりも、この世が正しいものに見えるかもしれません。あなたの世界と神の世界をひとつにするのです。あなたが生きるこの世界と、聖い神の世界を違うものにすべきではありません。

3. 黙想を実践に移す

黙想は、頻度が重要です。どれだけ長くするかではなく、どのくらいの頻繁にするかです。聖書全体を1年で3度読むことは良い目標ですが、もし真理を心に深く留めることがないのなら、無意味になってしまいます。一日を通して、みことばに価値を見出す方法を学び、思い巡らすのです。聖書箇所を選び、学び、暗唱し、友人と分かち合い、ノートをつけ、冷蔵庫や洗面鏡に貼りましょう。

聖書を30分間読み続けるより、ある特定の聖書箇所を10回読む方が、より有益かもしれません。

箴言3:1～4(新共)を読み、神のことばをどうすればよいのか、下線を引きましょう。

わが子よ、わたしの教えを忘れるな。わたしの戒めを心に納めよ。そうすれば、命の年月、生涯の日々は増し／平和が与えられるであろう。慈しみとまことがあなたを離れないようにせよ。それらを首に結び／心の中の板に書き記すがよい。そうすれば、神と人の目に／好意を得、成功するであろう。

詩篇 119:97～100 を読み、神のことばを黙想することの益をあげてみましょう。

書かれていることを行う

盛んにみことばやその真理を学び、胸を躍らすことがあるかもしれませんが、私たちは定期的に聖書で言われていることを行っているでしょうか？聖書が言っていることを日々実践したら、どうなるでしょう？みことばの真理が、人生の中で生きたものとなることを見ることとなります。神のことばに従順に歩むなら、神の約束は成就されるのです。

ヤコブ 1:22 を読みましょう。どのように自分を欺くと言っていますか？

ヤコブ 1:23～25 (LB) を見ると、人生で神の力が働くのを見る約束の根拠があることがわかります。「聞いただけで実行に移さない人は、鏡に映る自分の顔をながめているようなものです。鏡から離れると、自分がどんな表情をしていたか、すっかり忘れてしまいます。しかし、[完全な律法、自由の律法である]神の教えを一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れてたりしないばかりか、その命令を実行します。神は、そのような人の行いに大きな祝福を与えてくださいます。」

みことばのうちに過ごす日々の時間を聖いものにしましょう。いかなるものにも邪魔させてはいけません。心に響くみことばを一節見つけて、声に出し、一日中思い巡らし、実践に移すなら、どんなに素晴らしいことが起こるでしょうか！

黙想は啓示となり、

啓示は信仰を生きたものとし、

信仰が生きたものとなるなら、物事に変化が起こる！